

報道機関各位

熊本大学

**「熊本地震から 6 か月、東日本大震災から 5 年。
熊本大学×東北大学 市民公開講座 今、ともに学び考える！」開催**

熊本大学 博士課程教育リーディングプログラム「グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラム HIGO」（略称：HIGO プログラム）は、東北大学「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム」（略称：G-Safety プログラム）と連携して「市民公開講座」を開催いたします。

講演会では、東北大学災害科学国際研究所からの 3 名の講師と熊本大学からの 2 名の講師が、熊本地震の仕組み、熊本での医療支援活動、熊本城の震災の歴史と今後の復興、東日本大震災と熊本地震の経験から得た教訓や復興へのヒント、災害時にうまく対処するためにどうすれば良いかなどをお伝えします。なお、講演会の前「プレ講座」では、講師による解説付きで被災前の熊本城の映像をお届けします。また、別会場では講演会場の「講演」を同時中継しながら、大学院生らによる「熊本地震」についてのパネル展示や、防災に関するカードゲーム、クイズなど、親子でご参加いただける企画も用意しております。

大地震を経験した東北と熊本。2つの大学院プログラムの経験や知識を地域の皆さまの「明日」に活かしていただけるよう、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしく願いいたします。

記

【日 時】平成 28 年 10 月 8 日（土） 12：00～18：00

【場 所】熊本大学薬学部（熊本市中央区大江本町 5-1）

【内 容】

- ・ **講演会を 10 倍楽しむためのプレ講座** 12:00～12:50 薬学部「第一講義室」
- ・ **講演会** 13:00～16:00 薬学部「多目的ホール」
- ・ **展示・参加体験コーナー** 12:00～18:00（随時参加 OK）薬学部「宮本記念館」

※多目的ホールの「講演」を同時中継します。

【対 象】一般の方（興味がある方はどなたでも）

【参 加 費】無料

※詳しくは別紙チラシまたはホームページをご覧ください。

<http://higoprogram.jp/public2016>

【お問い合わせ先】

国立大学法人熊本大学 教育研究支援部
生命科学系事務課 リーディングプログラム
推進チーム（担当：内山）

TEL：096-373-5785

熊本地震から6か月、東日本大震災から5年。
熊本大学×東北大学
市民公開講座

命

自然



健康 安全 減災

社会

大地震を経験した
東北と熊本。
2つの大学院
プログラムが連携して、
知識を活かす!

入場無料
(事前申込不要)

今、ともに学び考える!

2016.10.8(土) 熊本大学薬学部

講演を10倍楽しむためのプレ講座	12:00~12:50	薬学部「第一講義室」
講演会	13:00~16:00	薬学部「多目的ホール」
展示・参加体験コーナー	12:00~18:00	薬学部「宮本記念館」

主催：熊本大学博士課程教育リーディングプログラム
「グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラムHIGO」
東北大学博士課程教育リーディングプログラム
「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム」
共催：東北大学災害科学国際研究所
熊本大学大学院自然科学研究科附属減災型社会システム実践研究教育センター
熊本大学文学部附属永青文庫研究センター
熊本大学「熊本復興支援プロジェクト」
後援：熊本日日新聞社

【お問合せ】 熊本大学 博士課程教育リーディングプログラム
国立大学法人熊本大学 教育研究支援部リーディングプログラム推進チーム
〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1 Phone: 096-373-6832
mail: higo-program@jimu.kumamoto-u.ac.jp
http://higoprogram.jp/public2016

※詳細はHIGOプログラムホームページをご覧ください



2016.10.8(土)

会場：熊本大学薬学部

熊本地震から6か月、
東日本大震災から5年。
熊本大学×東北大学
市民公開講座
今、ともに学び考える！



第一講義室 (講義棟内1F)

12:00~12:50
講演を10倍楽しむためのプレ講座

被災前の熊本城の映像をもう一度！
復興への思いを新たに。
解説：稲葉継陽 教授
(熊本大学永青文庫研究センター長)

多目的ホール (総合研究棟2F)

13:00~16:00
講演会



お願い：駐車場は台数に限りがありますので
公共交通機関をご利用ください！

- ① 2016年熊本地震はなぜ、どのように起こったか？
これからの内陸地震を予測するために熊本地震から学ぶこと
遠田晋次 教授 (東北大学 災害科学国際研究所/G-Safety)
- ② 熊本被災地へ！東北大学病院 災害派遣医療チーム(DMAT)の医療支援活動
- ひとりでも多くの命を救うために
佐々木宏之 助教 (東北大学 災害科学国際研究所/東北大学病院)
- ③ 熊本城の震災の歴史 - 「今から」を歴史にするために過去に学ぶ
稲葉継陽 教授 (熊本大学 文学部附属永青文庫研究センター長)
- ④ 東日本大震災・熊本地震の経験から復興へ
- 経験を教訓に変え、次の世代につなげるために
今村文彦 教授 (東北大学 災害科学国際研究所長/G-Safety 創るユニット長)
- ⑤ なぜ人は災害にうまく対処できないのか？ - 行動や意思決定のパターンから考える
藤見俊夫 准教授 (熊本大学 大学院自然科学研究科附属減災型社会システム実践研究教育センター)

3

2つの大学のノウハウを
明日からに活かそう！

講演会

宮本記念館内では多目的ホール
での「講演」を同時中継します。
親子でもご参加いただけます！



展示



- 熊本大学が地域の「避難所」に指定されていることを知っていますか？
- 外国人留学生から見た「熊本地震」とは？
- 災害時の行政の対応は？
- 熊本日日新聞社・ネパールインターンシップレポート
熊本とカトマンズ。大地震を経験した2つの地域を結びつけ、
復興に向けたヒントを得よう。

参加体験



●減災アクションカードゲーム (G-Safety 開発)

災害時の対応をイメージ・共有してみよう！

[対象：小学生以上推奨、防災教育を考える方々も歓迎！]

●防災クイズ 身近な自然災害編

「クリッカー」を使ってクイズに答えよう。あなたと同じ回答を選んだ人は
何人いるかな？ 結果をみんなで共有しながら防災について学ぼう！

[対象：小学生以上推奨]

熊本大学HIGOプログラム

医学・薬学を学ぶ大学院生が、地域
に寄り添いながら、熊本復興に向けて
今できることを考え、発信します！

東北大学G-Safetyプログラム

東日本大震災を受けて、被災地の調査、
防災・安全に関する市民への啓発活動
などを継続的に行っています。

熊本大学薬学部 (熊本市中央区大江本町5-1)

【交通センターから】

□バス 新外、小峯、京塚、帯山、木山、県庁行きなど
「味噌天神前」下車、徒歩5分

□市電 健軍行き、「味噌天神前」下車、徒歩5分

□タクシー 10分

【JR熊本駅から】

□バス 健軍行き「味噌天神前」下車、徒歩5分

□市電 健軍行き「味噌天神前」下車、徒歩5分

□タクシー 10分

【JR新水前寺駅から】

□徒歩 10分

事前申込不要！

【お問合せ】

熊本大学 博士課程教育リーディングプログラム

国立大学法人熊本大学

教育研究支援部リーディングプログラム推進チーム

〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1

Phone: 096-373-6832

mail: higo-program@jimu.kumamoto-u.ac.jp

http://higoprogram.jp/public2016

